



## 進路について考える会

7月2日(金)5限に石川県立金沢西高等学校の  
宮本菜実子先生、塩田真深子先生に  
「高校とは大人の世界(未知の私の世界)との接点である」  
という演題で講演していただきました。

高校生活について具体的に分かりやすく説明していただき、高校生活が少しイメージできたのではないのでしょうか。これからの自分の進路選択をするための貴重なアドバイスをいただきました。

夏休みには各高校で体験入学、オープンスクールが予定されています。家族と進路についていろいろ話し合い、納得できる進路選択をしてほしいと思います。



探究活動の動画を見て、私はあんなにちゃんと調べ学習に取り組めたことがなかったので、高校生ってすごいなと改めて思いました。自分が思っていたよりも授業の科目が多くて、少し驚きました。「高校」がどんなところか前より知ることができたし、そこからまたどんな道があるのかもイメージが湧いたのでよかったです。まずは、志望校に合格できるように頑張ろうと思います。 古田 遥香(2組)

私は、今まで合格するためにどうすればいいか考えていたけど、今日のお話を聞いて、もう少しその後の自分について考えたいと思いました。自分が将来なりたい自分になれるように、日々の勉強をかかさず今できることを精一杯したいと思いました。自分に合った高校を見つけられるようにもう一度考えたいです。 長田 美咲(3組)

今日の「進路について考える会」で一番心に残っている言葉は、「高校生は「大人」として扱われる」です。学校にいるから学生ではないときいて、高校に入る前の今から、行動を見直しておかなければならないと思いました。高校が中学校よりも「自由」なのは、自立した大人になってもらうためだと知ったので、私はやりたいことに向かって自分から積極的に行動していけるような高校生になりたいです。そのために、部活をやっている今から勉強の習慣を身につけられるように頑張りたいです。

國分 結子(1組)

SDGsの動画を見て、すごいなと驚きました。「大学生や企業と連携する」ということを聞いて、高校生が行うことに興味をもちました。今、受験勉強に努めながら、高校生活のことを考えてワクワクしていますが、金沢西高等学校の先生がおっしゃったように、受験が終われば勉強が終わるわけではなく、中学校の勉強内容よりも難易度が上がるので、楽しい高校生活を送るには、勉強を継続していく必要があります。頑張ろうと思います。 加藤 緋奈乃(5組)

自分がやりたいことに合った高校に行くのがよいと思った。高校に合格しても、その後に授業の話についていくために、予習が必要だと分かった。今までは、最低限やらなければいけないところだけをやっていたけど、こんなやり方ではついていけないから、今から勉強をする癖をつけた方がよいと思った。

石田 泰靖(4組)

